



# リオン市は、歴史や産業、食文化に恵まれたフランス第2の都市です

## 横浜とリオンをつなぐもの

ルネサンス期より、絹織物業が盛んだっリオンに横浜から輸出された生糸が使われていたご縁で、1959年に横浜とフランス・リオンは姉妹都市として提携しました。

古くから産業の中心であったリオンは、豊かな食文化や自然、世界遺産といった魅力に溢れた、フランス第2の都市といわれています。

### リオン市の概要

- ◆言語: フランス語
- ◆通貨: ユーロ
- ◆観光名所: 織物美術館/ガロ・ローマン史跡/フルビエールの丘/トラブル(抜け道) リオン旧市街/リオンオペラ座など
- ◆人口: 約50万人 (市内のみ)  
\*リオン市を中心とする大都市圏では、約130万人
- ◆面積: 47.87平方km
- ◆地理: パリ地域圏に次ぐフランス第2の経済圏であるローヌ・アルプ地方の首都。
- ◆市政: 市長 ジェラルド・コロム氏。市議会は任期6年で直接普通選挙により選ばれる。



### 横浜とリオン～姉妹都市提携のご縁～

リオンは、ヨーロッパにおけるシルクロードの最終地点として古くから絹織物業が発展していましたが、19世紀にスペインで発生した蚕の病気がヨーロッパ全土に広まり、絹の入手が困難となりました。その危機を救ったのが、横浜港から輸出された日本の生糸。絹がとりもつ縁によって両市は友好関係を築いていき、姉妹都市として結ばれたのでした。当時の新聞記事は、リオンと横浜の姉妹都市提携を「おカイコさんのとりもち」という見出しで報じました。以降、両市の間では、市民や事業者の皆様を中心に、交流・相互理解を深める活動が活発に行われています。また文化芸術、教育、経済、温暖化対策などさまざまな分野で協力を深めています。

19世紀  
絹を介して両市の  
交流が始まる

1959年  
姉妹都市提携

1974年  
姉妹都市提携15周年記念  
市民使節団派遣

1979年  
姉妹都市提携20周年記念  
市民使節団派遣

1984年  
姉妹都市提携25周年記念「横浜フェア」開催

1989年  
姉妹都市提携30周年記念 市民使節団派遣

1994年  
姉妹都市提携35周年記念

1999年  
姉妹都市提携40周年記念

2001年  
「世界の美食の街・姉妹都市リオンを  
結ぶ『食』と『文化』の祭典」を横浜市  
で開催

2004年  
姉妹都市提携45周年記念

2009年  
姉妹都市提携50周年記念

2014年  
姉妹都市提携55周年記念

2019年  
姉妹都市提携60周年





# 歴史と食の都 リヨン

## リヨンが食の都と言われる理由

リヨンの周辺には、ブレスの鶏やシャロレの牛、ロース川沿いの野菜や果物、オヴェルニュ、ドフィネ地方のチーズなど良質な食材が多数あります。それらが、大消費地であるリヨンに出荷され、多様な料理が誕生しました。



### リヨン風サラダ

ベーコン、クルトン、ポーチドエッグ、レバーなどが入ったサラダです



### 牛はらみ肉のポワレ リヨン風ソース

リヨン風の特徴である「よく炒めた玉ねぎ」にフォン・ド・ヴォとワイン・ヴィネガーを加えてソースとしています

## リヨンの観光スポット・イベント

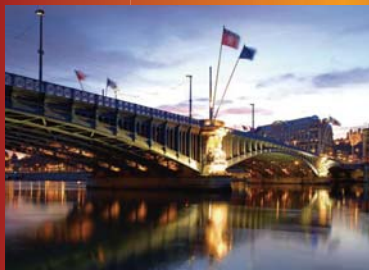
### FESTIVAL OF LIGHTS ～光の祭典(クリスマスシーズン)

中心街とリヨン・コンプリュアンスにある350の建築物は期間中イルミネーションに彩られ、世界で最も美しい光の祭典のひとつに数えられています。 開催時期:毎年12月のクリスマスシーズンの4日間で開催



### BRIDGES

リヨンの街の発展を支えてきた、2つの川にかかる数多くの橋。建造時期により様々な素材、デザインとなっています。街と街、人と人をつないできた歴史が感じられます。



フランス観光情報は**こちら**

フランス観光開発機構  
<https://jp.france.fr/ja>







## リオンと横浜の連携 ～ダンスを通して～

### Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018との連携

2018年夏に開催した3年に一度のダンスの祭典「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018」では、リオン・ダンス・ビエンナーレの現役の芸術監督である、ドミニク・エルヴ氏をディレクターに迎え、リオン・ダンス・ビエンナーレと連携しました。ふたつのフェスティバルには、市民が参加して街全体でフェスティバルを盛り上げることができ、フェスティバルをきっかけに新しい作品を広く発信しているという共通点があります。この連携により、世界トップレベルのカンパニーによる横浜公演や、日仏共同制作“作品”の横浜での世界初演などが実現しました。

#### 日仏共同制作「トリプルビル」の発表

ドミニクディレクターの企画による、日仏コラボレーション。そのキーワードは「ストリートダンスと芸術ダンスの融合。」フランス人振付家カデル・アトゥとジャンヌ・ガロワが、日本人ダンサーと横浜で創作した新作を発表しました。東京ゲゲゲイの作品を加えた、3本立ての公演は、横浜で世界初演後、ジャポニスム2018公式企画としてフランスツアーが行われました。



## リオン・ダンス・ビエンナーレとは

1984年に始まり、2018年の開催で18回目を迎えました。先進的かつ親しみやすいこのビエンナーレは、現在では約10万人の観客を集め、世界で最も重要なフェスティバルの一つとされています。2018年は、9月11日から30日に開催され、40のダンスカンパニーが、新作25作品（世界初演およびフランス初演）を含む45作品を上演しました。



ドミニク・エルヴ